



東部中学校生が市長にプレゼンテーション

「しもつまの未来を話そう2025」開催

11月12日市役所において、市立東部中学校3年生約100人が、キャリア教育推進事業「しもつま未来学」から得た気づきを基に、総合的な学習の時間において取り組んできた、持続可能な下妻市の未来を実現するための施策を市長へプレゼンテーションを行いました。

発表では7つのグループが登場。自転車×観光によるエコツーリズム、音楽ライブやスポーツ大会を開催できる多機能アリーナ構想、家族で楽しめる大型観光企画、学びと働きやすさを両立する新しい保育園、若者向けIT学習環境の整備、若者が挑戦できるまちづくり、若年層へのアプローチによる農業活性化など、さまざまなアイデアが次々と提案されました。

市長は「次代を担う若い世代が地域への誇りを高め、課題解決に取り組むことが重要。中学生の提案を契機として、より持続性の高い活力あるまちづくりにつなげたい」と期待を寄せました。

☎ 学校支援課

市長に対して、各チームから活発なプレゼンが行われました